

ことばの資源性に関する研究

研究キーワード



- 文化振興活動
ことばを活用した地域づくり
- 地域社会活動
ことばを活用した防災・減災対策

連携アピール



- 地（知）の拠点整備事業（COC事業）の事業推進責任者として地域課題の解決に取り組んできました。ことばの調査を通じて学生が言語研究の方法を学ぶとともに、地域の文化的資源の活用についても広く関心を持ち、地域社会に貢献できるよう取り組みを進めています。
 - 「高知県西部の地震津波記念碑の伝承内容と方法について」（皇學館大学文学部紀要第60輯、令和4年3月）
 - 伊勢市の花・木・鳥選考委員会答申（伊勢市ホームページ、令和3年12月）
 - 三重県内ファミリーマート設置イーネットATMの方言音声案内の構築（平成28年12月）
 - 伊勢方言かるた（リントス、平成26年1月）

本研究の概要

- ことばのもつ社会的な役割を資源として捉え、商品化における提案とその効果について検証します。
- 「ことばは命を守るか」をテーマに防災・減災におけることばの伝承力を高める研究に取り組みます。



研究者



齋藤 平（さいとう たいら）
文学部国文学科 教授

